

## \* 「木村泰子先生」講演会を開催しました。

10月29日（日）にドキュメント映画「みんなの学校」の校長先だった木村泰子先生をお招きして、2時間通して迫力のある講演をして頂きました。

昨年12月に この映画を上映して300名余の皆さんに来て頂きました。その時皆さんからのアンケートで、この校長先生のお話を聞きたいという要望が多数あり今回の講演会を開催する事になりました。

先生は9年間大阪の公立大空小学校で校長先生を勤め上げ、現在はフリーとして全国を駆け巡って講演活動をしています。

子ども達への熱い情熱と教育界は変わっていかねばならないという事を中心にいろいろな事例をあげながら話が進めてられていきました。

決め事があると子ども達はその中でしか考える事できなくなる、その結果想定外の出来事に対処できないということが起こってくるのではないかと。

子ども達が失敗したらやり直しながら学んでいく事が大切である。ある時、全校で道徳の授業で「人権て何だろう」という事を考えた時、子ども達から出た考えは「空気」でした。「空気がないと死ぬよ」これが子ども達の考えでした。

不登校の原因探しはかえってその子を追い込んでいく事があり「その子が吸える空気が学校にない」と感じているからです。

学ぶのは子どもで、学校を作るのも子ども達である。また、説教や罰では子どもは育たない事、多様な学びの場全ての子どもが吸える空気がある事で子どもは育っていきます。また、保護者や地域の住民に学校の困った所をさらけだし、サポーターになってもらい、問題を共有して地域の学校を創り上げていくことが大切です。

10年後の教育について、今の教育が変わらないと、怖ろしいことになるのではないかとおっしゃっていた事がとても気になりました。

この日は台風22号の影響で大雨で、参加して下さった皆さんも会場へ行くことを迷った方がいらっしまったと思います。「でも、来てみて本当に良かったと思いました」とアンケートにありました。主催側としても、あつく御礼申し上げます。ありがとうございました。

